

事務事業評価資料

施策名	安全・安心な社会づくり（医療体制の整備）			所管部局課名	健康福祉部健康局医務課				
事業名	へき地医師確保特別事業			担当者電話番号	医療政策係 078-362-3243				
事業目的	へき地医療の質の向上のために地域の実情を踏まえた新しい医療のあり方を研究 へき地勤務医の安定的な確保								
事業内容	特別講座設置数（H21）：4講座（神戸大1、兵庫医大2、鳥取大1） 活動内容：診療現場をフィールドとして、地域医療に従事する医師への支援や新しい医療のあり方を研究				事業開始年度	平成17年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(78,060 千円) 78,060 千円		(90,000 千円) 90,000 千円		(110,000 千円) 110,000 千円			
	人件費	891 千円	従事人員 0.1人	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円	従事人員 0.1人		
	総コスト（+）	78,951 千円	従事人員 0.1人	90,847 千円	従事人員 0.1人	110,836 千円	従事人員 0.1人		
事業の目標	本事業による講座設置			[目標設定理由] へき地勤務医の安定的な確保、へき地医療の充実に向け新しい医療のあり方を研究するため、大学への特別講座設置を目標とする。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
		本事業による講座設置数	4講座（H20まで3講座） 21年度	3講座 (26,317 千円)	3講座 (30,282 千円)	4講座 (27,709 千円)	100.0%	100.0%	100.0%
評価結果	必要性	・へき地勤務医師を確保するためには、へき地医療に対する医学生の理解が不可欠であり、その理解を深める一助となる本事業は必要。							
	有効性	・神戸大学が研究拠点を置く公立豊岡病院での取組が評価され、同病院での初期臨床研修希望者が増えるなど、各大学の特別講座により、地域医療の充実が図られている。							
	効率性	・地域における臨床を通じた研究を実施し、地域医療の充実に還元しようとする当該事業は、1講座に教員2名（医師2名）が配置されており、医療の研究・教育にノウハウを有する大学に実施を任せ、医師を確保するほうがコストの面においても効率的である。							
	民間・市町との役割分担	・県が抱える課題について地域で研究を進めているものであり、民間・市町と分担すべき役割はない。							
	受益と負担の適正化	・本県において医師が特に不足する但馬及び丹波地域において研究・診療を進めており、県の施策として、市町に負担を求めるべきものとは考えていない。							
実施方針	方向性	新規	① 拡充	継続	実施手法の見直し				
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	へき地に勤務する医師の安定的な確保及びへき地の地理的条件と限られた医療資源の中での医療の質の向上に向けた新しい医療のあり方の研究のため、へき地医師確保特別事業として平成17年度以降に神戸大学医学部・兵庫医科大学・鳥取大学医学部で開設した特別講座を引き続き実施し、地域における医療に関する研究を行うとともに、医師不足地域の補完を図る。								